



縫合処置後のケアについて



★縫合した場合

当日は傷の内出血予防のため、圧迫止血をしています。病院で処置をしたままの状態にしておいてください。翌日以降は市販の絆創膏などで保護を継続してください。抜糸が終わるまでは以下のことを控えるようにして下さい。

- ・ 傷に強い力が加わるような運動
- ・ プール、公衆浴場の使用(自宅での入浴は可能ですが、短時間としてください)

★受診した翌日から毎日、1日1回は傷をきれいに洗い、湿潤環境を保ちましょう

水道水で洗浄して問題ありません。傷の表面に汚れや血の痕がある場合には指の腹などで優しく洗い流してください。石鹼の泡をつけても構いません。その後処方された軟膏を塗って、ガーゼやテープで保護してください。場所によっては覆うことが難しいことや、不要な場合もあります。

★毎日のケア時に確認してほしいこと

- ① 細菌の感染が疑われないか。…傷が赤く腫れている、膿が出ている、痛みが強い、発熱があるなど。感染は怪我をしてから数日以内に起こることが多いです。上記のような症状が疑われた場合は、早目に再受診をしてください。
- ② 縫合した糸が抜けて傷が開いてしまっていないか？糸は自然に抜けてしまうことがありますが、傷が開いていなければそのまま経過みることもあります。気づいた際はご連絡をお願いします。

★その後のケア

縫合した場合、傷の場所や状態により異なりますが、5～14日程度で抜糸を行います。傷の治りが悪い場合は、抜糸後もテープ剤などで治療を継続することがあります。また、見た目には傷が治っているようにみえても、まだ完全に治っている訳ではなく、再びぶつけた場合は傷が開いてしまうこともあるため注意してください。

新しい皮膚は紫外線の感受性が高いため、紫外線にあたると傷跡が残りやすくなる場合がありますので、遮光をおすすめします。傷は最初のうちは赤みがありやや盛り上がって見えますが、数か月～数年かけて周囲になじんでいきます。